

第一回品川の明日を語るタウンミーティング 要旨

-八潮のまちづくり-

<あいさつ>

- 司会(広報広聴課長)
- 区長

皆さんこんにちは。私が区長になりまして、ちょうど四ヵ月半になろうかと思えます。平成19年度予算も案を作成し議会に提出させていただきました。

区民の皆さんの声をお伺いするのは、議会を通して、「区民の声」という制度を通して、または区政モニターからと色々な方法がありますが、私はまちの皆さんの声を直接お伺いする方式の、このタウンミーティングを区長になったら是非、やりたいと思っていました。

品川区のそれぞれのまちにはそのまちごとの課題がありますが、特に八潮地区はまちができて20年余り、様々な課題が見えてきています。ですので、まず、この八潮地区から始めさせていただきたいと思えます。これから、この八潮を皮切りに区内の各地域を回ります。

今日は、皆さんの色々な意見を伺いたいと思えます。よろしくお願いいいたします。

- 司会
それではこれからタウンミーティングを始めさせていただきたいと思えます。

おもに学校跡施設について

Aさん

八潮の学校の統廃合を聞いて、その後の学校跡地をどうされるのかなあと自分なりに考え、空き運動場を畑に変え、各地で取り入れられている子ども、高齢者、障害者が一緒になって土いじりをして元気になっていく「園芸福祉」を行えばいいと思う。みんなで元気になれば医療費も少なくともすみ、いじめもなくなると思う。

それと、空き校舎を利用して、リサイクルショップリポンのような施設などがあったら良いと思う。

八潮の緑道公園にある5つの池は、これまで夏になるとドブ池になり水がなくなっていた。けれど、水道の蛇口を二つ付けていただき、ドブさらいについても検討すること、椅子も設置してくれると聞いた。皆で協力して「品川のスイス・住みよい八潮」を作っていきたい。

Bさん

学校跡地の問題で、文化センターや温水プールやトレーニングルームなどの施設・グループで利用できる部屋、健康に留意した食事を提供するレストランなどの施設を希望する。区内に既にあるこのような施設は全て八潮からは遠いところだ。

また、ボランティアを集める仕組みを作ってほしい。ボランティアをしたくても今まできっかけがなく困っていた。地域にはいろんな特技を持っている人がいるので是非活用してほしい。

Cさん

八潮の学校が小中各1校に統合されると聞いた。ならば、スポーツができる生涯学習の場などを作り、八潮住民だけでなく他地域からも集まれる場所にしてみてはどうだろうか？せっかく、緑道公園などがあるので、誰でも集える空間を作り、年に何回かは大きなイベントをしてはどうか？

Aさん・Bさん・Cさんへの回答

区長

八潮のまちができて20数年経って、これからどうすればいいか積極的なご意見を頂戴いたしました。まず、個々のお話についてお答えさせていただく前に、八潮の全体的な話をさせていただきたいと思います。

<八潮の一団地決定について>

八潮は、「一団地決定」という、まち全体を一つの団地とみて都市計画決定を受けています。それは一体どういうことかと申しますと、例えば、大井地区小中一貫校開校による原小学校跡施設を転用する時には、まちの皆さんにもご意見を伺い、転用に向けての準備をするということが可能なのですが、八潮の場合、例えば小学校を何か他の用途に変更するには何をするにつけても都市計画決定を経ないといけないので簡単にはできないのです。都市計画決定を受ける(変更する)ことは東京都都市計画審議会の決定を経なければなりません。

例えば、都市計画の基準の中では、団地の戸数がいくらあったら、学校の数はいくら必要だということかたちで決まるのです。少子高齢化などで実際の人口構成に変化があったとしても、住戸数によって最初に決めた学校数は、簡単には変えられないのです。

品川区としては八潮を現実の姿に即した都市計画に変更したいということで、実はこれまで東京都と交渉をしております、ようやく、東京都からは案を持っていらっしゃいという話になっております。ですので、区として早急に案をまとめて東京都と議論するために、今日、皆様のお声を聴きまいったということもあります。

<学校跡施設利用について>

文化センターなどを作ってほしい、他の地域の人が集う施設を作ってほしいというお話がありました。私も思いますに、八潮は、全て、八潮で事足りる、自己完結できる思想をもとに作られた都市計画のまちなのです。ですから、他の地域の人を呼び込むという施設はないわけです。しかし、それは得てして自己完結＝まちの閉鎖性に繋がることもありますので、おっしゃるようにこれからの八潮のまちづくりは、人が行き来できるような所にしていくのが必要なのではないかと思います。

八潮には現在、学校が5つありますけれど、それを小中一貫校1校にしてできればその他の学校跡施設は他の施設に転換したいと区としても考えておまして、昨年6月に区役所の全ての事業部長をメンバーとした「八潮プロジェクト」というチームを立ち上げました。例えば、高齢者の所管・生涯学習の所管で、それぞれどうしていこうかという検討を庁内で始めましたので、今日の皆様のお声は、この八潮プロジェクトの検討に是非、反映させていきたいと思います。

<緑道公園と園芸福祉等について>

緑道公園については、ご意見を事前に頂戴した時点で、所管である東京都港湾局東京港防災事務所に問い合わせをいたしました。そこからは「区民や区と相談しながら、どのような改善ができるか調査・検討を進めていく」という回答をいただきました。都にも予算の限りがある都合もあるかと思いますが、池に水がないというのは致命的な話ですので、区としても、今後も都に改善を働きかけながら、連携を取っていききたいと思います。

それからリサイクル施設や園芸福祉の話をお伺いしましたが、別の地域でも園芸療法を一時期手がけそれなりに効果が出ています。あとは、敷地の話ですね。皆さんの要望は多岐に渡っておりますので、まずはそれをお伺いしどのように割振っていくか考えていきたいと思います。

おもに八潮の活性化について

Dさん

まず、はじめに第一回のタウンミーティングに八潮を選んでいただき、ありがとうございます。

八潮の活性化について。入居当時から比べると団地全体の少子高齢化が進み、地域の勢いが弱まっている。例えば、銀行が撤退しATMだけになってしまったり、ダイエー内の店舗は空きが多くなったり。八潮は、緑が多く水もきれいという点でとても子育てには適した環境だが、社会生活を営む上で自己完結できるような状態では今はない。活性化の最初として、例えば、ダイエー内のパトリアを区で買取り、民間に廉価で貸すなどして商店の誘致などをしてみてはどうだろうか。

また、これは役所に言う問題ではないけれど、近年、八潮で外国人居住者が増えていて、その外国人の方々とどうコミュニケーションをとって地域での協力関係を結んでいけるのか悩ましいところだ。皆にとって良い形で進められるように、行政の力を借りていければと思う。

高齢化の中、日頃から介護予防に取り組むことが大切と痛感。八潮は、どちらかという元気な高齢者が多いので、今の地域センターを改修し、健康増進を図れる施設を増やして貰いたい。

現在、区は10の保育園がオアシスルームを開設しています。八潮地域には1つもない。八潮には、4つも保育園があるので是非1つは開設していただきたい。

小中一貫校開設で学校が1校になるので、空いた学校については、例えば、元気高齢者が健康増進を図れる施設や二世帯や単身者が暮らせる住宅を建築してほしい。

Eさん

八潮団地が孤立しないように何か魅力のあるところにしてほしい。

八潮地区は、携帯電話の電波が圏外になることが多い。電波を邪魔しているのか？緊急の連絡をしたい時に不安、調査などできればしてほしい。

Dさん・Eさんへの回答

区長

<オアシスルームについて>

まずはオアシスルームの話からさせていただきます。今、オアシスルームの運営方法と場所の見直しをしているところです。需要の少ないところと需要が高すぎて間に合わないところがあるのが現状です。その見直しの中で八潮の需要はどうかを検討していきたいと思います。

<パトリアの活用・銀行の撤退について>

さて、パトリアについて区で借り上げてというお話ですが、活性化については色々な方策があると思いますが、実は、区役所の若手職員を構成メンバーとする政策課題研修において、これからの八潮はどうあるべきかということで、自治会長さんや住民の方の意見を聞いたりなどして様々に研究をしました。その中で空き店舗をどうしようかということも話し合われ、対策を探りました。それと、銀行については、銀行の統廃合や人員整理が各行で行われた結果、八潮地区に限らず、今どこの地域でも窓口のある店舗からATMに切り替わっています。例えば、大崎などもそうです。店舗の確保の要請については、いろいろ難しいですが、ATM だけではいろいろ不便ですから、これからは銀行には機会を捉えて、区から申し入れをしていきたいと思っています。

健康増進施設・介護予防施設の建設については、他の方からもご意見をいただいておりますので、今後の検討課題とさせていただきます。

<外国人との共生について>

それと外国人との共生の話ですが、外国人居住者が増えている現状は八潮のみならず品川区の別の地区でもあります。どうすれば一緒に共生できるか、その課題への対応については考えていきたいと思います。

<携帯の電波について>

このご意見について、携帯電話会社に問い合わせをしました。一般的に硬いコンクリートに囲まれた部屋の中では繋がりにくいもので、区役所庁舎内でも携帯電話が繋がらず窓の近くに行かないと繋がらないのが現状です。ですので、電波については、是非、直接、会社に問い合わせいただきたいと思います、会社の問い合わせ先は後でお帰りの際に受付でお渡しします。

企画部長による資料説明

「八潮地区の人口の推移と第 17 回品川区世論調査結果(八潮編)」

おもに環境問題について

Fさん

八潮の人口問題で今後20年30年先のことを考えた時に、街をゴースタウンにしないために、高齢者問題に特化しない何らかの方策を考えていったほうが良いと思う。具体的には、子育て世代と親(高齢者)世代と一緒に住める住居を作って、20代、30代の若い夫婦世帯が一定の比率を保っていけるようにしてほしい。

Gさん

品川区で最初のタウンミーティングを八潮でやっていただいたことに敬意を表します。

八潮中央通りの歩道の問題。ここは狭く、車椅子がすれ違えない。あと、35cm拡幅してほしい。

先ほどの企画部長の説明にもありましたが、八潮の世帯数は変動がないのに、人口が減っている問題。これは、国の住宅政策のおおもとにかかわる話にもなりますが、一つには二世帯で住めれる様な設計に住宅がなっていないということ。このままでは、八潮は高齢者の街になってしまう。このことを頭に入れて八潮のまちづくりを考えていただきたいと思う。

公害の問題。品川清掃工場については、公害はないという話になっているが、その状況をデータとして公開する仕組みを考えていただきたい。それと、中央環状品川線に排気口を作るらしいが、それを調査し公開できる仕組みと、品川線の排気を浄化する仕組みを今から考えてほしい。

それと、高齢者が活動できる施設とボランティアセンターやベンチャー企業を誘致できる仕組みを考えて欲しい。

Hさん

ダイオキシンの汚染物について。シンシアの計画は、大方は他で処理されたと思うが、高濃度の汚染物がいまだ能勢町に残っており、品川区に持ってこないという確約はしていないという話を聞いた。その処理について、絶対に品川区に持ち込まないという姿勢を改めて示してほしい。

シンシアと品川区が交わした協定書の中に、大気汚染を測定するという条項があるが、私が情報公開請求をしたところ、そのような書類はないという回答をもらいましたので、協定が実行されていないのではないかと思われる。協定書の中身について検討してほしい。それと、シンシアがもっと親身になって我々の質問に対応してくれるよう、協定書の改定を望む。

あと、東京都では大気汚染等測定のために測定局を港区白金と大田区に設置しているが、品川区に測定局があるか教えてほしい。品川区内の大気汚染を測定し把握することは重要だと思う。

Fさん・Gさん・Hさんへの回答

区長

<住宅の転用について>

八潮の人口について団塊ジュニアの流出が多くみられます。八潮の住宅の転換については、都営住宅や都市再生機構(UR)等住宅の運営主体はあまり熱心ではないのです。なぜかという、住宅の専門組織がやっていて、広く、人口問題とかまちづくりの観点で住宅を運営していないので問題意識が広がらないからです。八潮のまちづくりをどうしていくか考えた時に、この住宅の問題は避けては通れませんから、区としても、これら住宅の運営主体に、これまでも様々に申し入れをしてみました。今後は更に二世帯が入居できる仕組み・転用をお願いしていきたいと思えます。

<歩行者道路について>

それから、歩道の話ですが、八潮の街は居住の方の安全を確保した完全な歩車分離になっています。それで、中央通りの歩道は、バスから降りた方が直近の歩道に移れるための誘導路なのです。歩行者の方は車椅子の方もそうですが、歩行者道路を歩いていただくという考えのもとで作られた街なのです。すれ違いできないことについては、所々、道幅を拓げて退避できる場所を作っております。ですから、原則は歩車分離ですが、そのような退避場所も今後、検討していきたいと思っています。

<中央環状線の大気問題について>

中央環状線の測定についてですが、事業主体者である東京都と首都高速道路(株)が、法令に基づき環境影響評価を行っています。また、大井北換気所については、平成13年度に八潮北小学校付近での現地調査が行われています。このデータをもとに、換気所周辺では、二酸化窒素の最大濃度が0.045ppm(環境基準は0.06ppm)、浮遊粒子状物質の最大濃度が0.084mg/m³(環境基準は0.10mg/m³)となり、環境基準以下になると予測されています。

この問題については、つい先だって、八潮の自治会連合会で、東京都の都市整備局と首都高速公団に要請をだされたそうです。騒音や粉塵の問題について配慮をしてほしいというものです。区としてもこの要請をバックアップしていきたいと思えます。

<シンシアへの対応について>

シンシアのダイオキシン排出状況は、協定に基づき定期的に報告を受けています。品川清掃工場では年2回測定し、最新の報告では測定値はゼロです。シンシアでは、法規制値の1/5を協定基準値とし、さらに法規制値の1/50を管理目標値とし、年1回測定しています。最新の報告では法規制値に対して1/500以下の値となっており、相当に低いレベルとなっています。また、測定結果は、東京二十三区清掃一部事務組合のHPとシンシアのHPで公開しています。

参考) 清掃一部事務組合HP: 清掃工場の環境調査 <http://tokyo23.seisou.or.jp/dioxin/index.htm>

シンシアHP: 環境数値 <http://www.sincerehq.com/suchi.html>

能勢町のことについては、区としてはこれまでと変わらない態度でいきたいと思えます。

<ダイオキシン測定局の設置について>

それと、測定局の話ですが、区内に大気中のダイオキシンを調査する測定局は設置されていません。品川清掃工場やシンシアのダイオキシン排出状況は、協定に基づき定期的に報告を受けています。大気へのダイオキシン類排出量は大幅な減少を示し、環境基準値の1/10の値になっており、測定局の設置について東京都からは現状の測定体制を継続していくと聞いています。

おもに高齢者問題について

Iさん

八潮に、是非、「いきいきラボ関が原」のような、シルバーセンターを作っていただきたい。

Jさん

八潮地域でも毎年のように孤独死が聞かれる。ある地方都市では、このような対策のひとつとして、電話回線を利用し大きな赤いボタンをワンタッチすることで関係箇所に当人の緊急事態を通報するシステムを採用している。同じようなことを考えた時、品川区で実施している「近隣セキュリティシステム」を子供の安全対策と共に併用できないか検討をお願いします。

Kさん

品川区は坂道と狭い道路、歩道がない道路が多い。それらの解消への努力してほしい。あと、電柱がはみ出している道路も多い。これも早急に東京電力などに掛け合ってもらいたい。

それと、東京都の絶大なる権力に対抗するには区の合併しかないと思っている。前区長は、うちは黒字なので損するだけだからやらないと言っていたが、今の区長さんはどうか、お考えを聞かせたい。

それと、先ほどの話にもあったが独居の高齢者(特に男性)の孤独死が増えている。行政の配慮をお願いします。

Iさん・Jさん・Kさんへの回答

区長

<いきいきラボについて>

関が原の「いきいきラボ」は、団塊の世代や元気高齢者の方々も、地域の中で活動していただくそのきっかけにしていただければと思います。団塊の世代をターゲットにしていますが、別に団塊の世代にこだわることもないと思っています。

今までのシルバーセンターは活動がその中で完結してしまいがちですが、「いきいきラボ」はそこで学んだものを地域で生かしていくことを目的にしています。ラボとそっくり同じものというわけではないですが、どういことができるか考えていきたいと思えます。

<高齢者の孤独死について>

高齢者の孤独死について。これは、区政協力委員会でもそういうお話をいただきました。今、区としては一人暮らしの高齢者の見守りとして、まず、民生委員さんが訪問・電話訪問などをやっています。また、「にこにこ訪問」といって70歳以上のひとり暮らしの高齢者で安否の確認が必要な方に、毎日、乳酸菌(ヤクルト)を配ることで安否を確認するという事業もやっています。あと、これはご意見のものとは少し違うかもしれませんが、65歳以上のひとり暮らしなどで常時注意

を要する方に、有料で通報用のペンダントを支給して、緊急時に消防庁あるいは民間のセキュリティ会社に通報していただく、「緊急通報システム」というものがあります。ご提案の近隣セキュリティシステムの活用ですが、今のシステムは子どもの安否ということを前提に構築しており、一万人の協力員とのお約束は子供の安否確認を前提にしておりますので、もしお年寄りをも含めるといことになれば、システムをもう一度組みなおしていかなければならず莫大な費用がかかります。まずは、先ほどお話した高齢者用の緊急システムなどのPRに力をいれていきたいと思えます。

< 道路の拡幅について >

そして、狭い道路のお話ですが、本当におっしゃるとおりですね。ただ今、区では、細街路拡幅事業というのをやっております。建築基準法における2項道路という狭い道路を拡幅していく事業なのですが、なにしろ、区内にはそういう道路が多いので少しずつですが取り組んでいます。

< 電柱の地中化について >

そして、電柱の地中化ですが、国道や都道は改修していく時は電柱を地中化しています。ですが、そういう事業はかなりのお金がかかりますので、そう簡単には取り組めません。今、区道としては試験的に、旧東海道と戸越銀座商店街の電柱を地中化しています。

実際のところ、この工事は大変なですね。水道とかガスとかのいろんな道路埋設物を移設しながら敷設しなさいといけないことと、日中に工事はできないので、夜中に工事をするとうるさいという苦情が来たりなど、そういう様々な点で大変な工事なのです。大変ですが、重要なことなので区の予算と相談しながら考えていきたいと思えます。

< 特別区の合併について >

特別区の合併の話ですが、今、特別区と東京都で事務の見直し・役割の見直しについての話し合いを続けています。東京都のやっている仕事でも区でもできますよ、じゃあどういものがあるのかという話し合いをしています。そういう話し合いの後、仕事を任せられました、でも単独ではできないということになれば、その時は合併するなり、共同の事務組合を作ればいいんじゃないかと思っています。そういう話になって初めて合併の議論をすればいいわけで、いきなり合併をするということは私の考えではありません。何をするか、そのためにどういう行政規模が必要なのかという議論があつての合併の話なのではないかと思っています。

おもに子育て・教育問題について

しさん

八潮児童センターの運営について。前区長の時に、一年間、八潮児童センターを週一回夜9時までに開館するということを試験的に行い、その中での意見を集約していくということになった。八潮は地域の特性として、共働きの家庭が非常に多いので、夜9時になっても両親が帰ってこずそういう家庭が子どものたまり場になっているのが現状。また、センターの前で深夜までたむろしているなどもよく見かけた。試験的に実施し集約した意見の中で、主婦の人はボランティアとして参加したくてもなかなか忙しくて難しいとか、そういう夜間開館はボランティアではなく職員がやったらどうかというものもあった。しかし、私は地域のことは職員任せにせず、地域でケアをしていくべきだと思う。ですので、夜間開放にあたって、一定の報酬を払って地域の大学生や教育の仕事をリタイヤしたなど専門家をスタッフとして迎えてはどうかと思う。

それと今、児童センターは全区から人を呼び寄せようという流れになっているが、それは一種の

レジャーランド化。他の児童センターから色々な子ども達が八潮にやって来るなどの問題がある。

加えて、児童センターでは今、一生懸命、子どもにバンドをやらせることを奨励しているが、このことは子どものグループ化を加速させるなど問題も出ているように聞いており、私としても懸念している。児童センターは健全育成をするところ。地域のことは地域でケアする、その拠点・居場所としての児童センターであるということを今一度お考えいただきたい。

Mさん

人口の問題で、先ほどのお話ではありませんが、ゴースタウン化を防ぐために、もっと若い人が住める仕組み、子どもの世代が居続けられる仕組みを考えてほしい。具体的には家賃補助とか。

小中一貫教育に関連して、何でも制服を作るという話になっているが、そういうことが住民に伝えられないまま話が進んでいる。制服を作る作らないの是非をきちんと話し合いたい。

Nさん

教育の問題については是非、もっと力を入れて取り組んでもらいたい。特に親の教育が必要ではないかなと思っている。私達が親だった時と今の親の感覚が全く違うので。

行政の財産管理運営について、既得権のピラミッドをどのように崩していくか等の諸問題について、役所の窓口対応のお役所的な対応についてお考えを聞かせてほしい。

Lさん・Mさん・Nさんへの回答

区長

<八潮児童センターについて>

地域の子どもは地域で見守っていくというのは、私も全くそのとおりだと思います。しかし、時代の流れは逆行しておりまして、国勢調査が成り立たないような時代になっているのです。子どもは地域が見守るといことは、現実的に時間や体力やお金といったあらゆる労力が必要なわけです。児童センターと地域の人はどうやってタイアップしていくかということですが、児童センターについては色々な見方があるかと思いますが、児童センターの目的は子どもの居場所づくりです。やはり、街中ではなく、児童センターで過ごしてほしいと思っています。そういう意味では子どもの溜まり場になりますし、どう指導していくかの問題などもあるわけです。その中で、Lさんのご活動とご経験などから専門の方に報酬をとという話ですが、人件費の問題などもありますし、八潮児童センターだけ置くというわけにもいきません。かなりの費用が出てくるお話ですので、慎重に研究をさせていただきます。

<八潮の住宅対策について>

Mさんのお話でFさんと関連するという事で住居のお話をお伺いしましたが、住まいの問題は、バブル前は国と都道府県のする事業だったのです。で、バブルの時に人口が地価の低い区外に流れてしまったので、区も定住化対策として住宅政策に取り組み始めたのです。

さきほどもお話ししましたが、住宅の主体にはさまざまなところがありまして、各々で様々な考えをもっておりますので、一概にすぐ取り組める話ではないのですが、言われていることの重要性は重々承知しておりますので、区としても色々な申し入れをしていきたいと思っています。けれど、家賃補助は、区がやるとなると大変な持ち出しになりますので、例えば、今、国では子育て政策の一環として住宅政策に取り組みはじめています。八潮で起こっている問題は八潮のことでありますが、全国各地でも見られる問題ですので、先ずは国にしっかりと取り組んでもらうために、区長会として強く働きかけを行っていきます。

<小中一貫校の制服について>

制服についてですが、区として制服を作る方針を持ってはおりません。学校とPTAの中で制服を作ることが適当かどうか話し合っていておられますので、制服については個人の方々に意見があるかと思いますが、各々の学校で話し合いをしていてもらいたいと思います。

<親育てについて>

親の教育についてですが、私はこの「親育て」を平成19年度予算の最重要課題とさせていただきました。別にお金をかけるわけではありません。親が親として育ちきれていない現状があるのではないかと思います。人によっては親としての自覚、親としての愛情を確立していないこともあります。それでお子さんが小学校にあがった時に親になるのではなくて、妊娠した時から親としての自覚を育てていかなければならないと思います。今はお姑さんと同居する人も少なくなり、周りにおせっかいな人がいなくなって、子育てをする時にアドバイスする・口出しする人がいなくなってしまいました。ですから、子育てをどうすればいいのか悩み、迷うお母さんも少なくないのです。そのようなご家庭に対して、小学校に上がってから「親としての心構え」とお話しても少し遅いのです。このような状況をほっておいていいというわけにはいきませんので、行政がおせっかいをさせていただくという時代になってきたのではないかと思います。親育てを最重要施策とさせていただいた次第です。

具体的には、母子手帳を交付した時に最寄りの保育園・幼稚園・児童センターを紹介し、登録してもらいます。そして、出産後には、児童センターや保健所の職員が、地域の民生児童委員等と協力して新生児全家庭へ訪問を行い、必ずご相談にのることの情報提供を行います。機会を捉えてなるべく妊婦さんたちとコンタクトを取っていきます。それから、赤ちゃんを見たことがないまま赤ちゃんを産むという方たちも増えてきていますので、出産する前に保育園で赤ちゃんを見たり、抱っこしたりする等の体験をし、また、先輩ママに話を聞いて不安を解消することもできます。児童センターには専門相談員を置きますので、虐待につながりそうなケースには積極的に介入していくことしていきます。

<役所の接遇について>

役所の中の話ですが、窓口の接遇、それでも昔よりは少しは良くなったと思います。そうはいつても、苦情やご意見は絶えません。言葉のやりとりで不愉快な思いをされたとか、最初の説明が足りなくて、そのまま手続きを進めたら最終的にできませんという話になって、なんだ、それでは最初の説明が足りなかったからじゃないかとかそういうトラブルは絶えません。しかし、それは毎日毎日が改善の時だということで、全庁的にイメージアップ運動とか研修を行うなどで接遇の向上に努めさせていただいております。

それと、上が下を見ていないのではないかというお話ですが、組織の運営の中ではまずいことなので、上司は部下をしっかりとみるということを組織の中でも進めていきたいと思っています。

司会

それでは、もう少し時間がありますので、追加の質問・ご意見がありましたら、どうぞ。

Gさん

さきほど、公害の問題についてデータをホームページでも公開しているので見てくださいというお答えをいただきましたが、例えば、原発でも偽造したデータを公表しているというのが実態ですので、シンシアがデータを取得する際に、品川区としても、立会いをするなどのことを是非、やっていただきたいと思っています。

しさん
児童センターでバンドをやらせることについてお答えなかったのでお答えください。

区長

バンド＝グループ化については、学校現場の話聞いていきたいと思います。

全体の総括

区長

皆様の貴重なお時間をいただきまして誠にありがとうございます。皆様、いろいろな事をお考えになりながら八潮にお暮らしになっておられることがわかりました。行政というのはとかく建物の中で机に座って紙と鉛筆で仕事をするということを生業としておりますので、とかく机上のものになってしまいます。そういう意味で今日のような皆さんの日々の暮らしの中から出てくるお考えをお聴かせいただくことは大変貴重なことだと思います。今日のご参加に心から感謝申し上げます。区役所としてできることとできないことがあります。今日、皆様から伺ったお話は、是非、今後の参考とさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。

● **閉会**

以上により全ての質疑応答等を終了し、午後4時に閉会した。

以上